

三鷹市立東台小学校 令和5年度【総合的な学習の時間】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第3学年	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットで調べ学習をする際、難しい説明や、たくさんある情報の中から必要な情報を選んだりすることが難しい。 (授業改善策) ○児童・生徒がじっくりと考えたり、調べたりできる学習課題を設定する。 ○3年生では難しい言葉で書かれているサイトもあるため、困っている児童にはサイトを提示したり、グループで助け合ったりできるようにしておく。また、他教科でも調べ学習をする練習を行い、必要な情報を自分の言葉で短く適切にまとめられるようにする。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童が、自分の関心のあることや興味のあること、調べたい事柄を進んで挙げていた。 ○疑問を大切に、何について調べるのか、課題の設定に意欲的に取り組んでいた。 ○社会科などの教科で学んだことを生かしながら、課題を設定することができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を設定したところまでは良いが、その後何をどのように調べていくのかの計画を立てるのが難しい。 ○調べる学習の際に、タブレットを利用しているが、難しい言葉や表現に困っている児童が多くなる。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットで調べ学習を行う際の支援が不十分であった。 ○なんのために課題を設定したのかを明確にできていなかったため、その後の学習につながりにくくなってしまっていた。 <p>(改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あらかじめ、いくつか分かりやすいサイトをピックアップしておき、児童が調べ学習を行う環境を整えておく。 ○グループ学習を取り入れ、協力して調べ学習を行えるよう指導する。 ○先を見通して課題を設定できるよう、ゴールイメージを児童と共有しながら学習を進めていくようにする。
第4学年	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ対策と並行した実体験の充実を図る必要がある。 ○デジタルシティンシップ教育において、情報への有意義な向き合い方を指導していく必要がある。 (授業改善策) ○地域の人財・文化財を有効に活用できるようにする。 ○授業中に自分の考えを述べたり、他者の発言を集中して聞いたりすることができるようにする。 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレット等の使い方は慣れているがルールを守れない児童もいる。 ○学習したことをプレゼンテーションソフトや文書作成ソフトを活用してまとめることができた。 ○多くの児童が、自分の関心のあることや興味のあること、調べたい事柄を進んで挙げていた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○疑問をもったり、課題を設定したりする場面では、問題意識や必要感についての個人差が大きいと感じる。 ○調べたことをメモにすることが難しい児童がいる。 ○多くの情報を集めることができるが、伝えたい内容を精査し、わかりやすくまとめることができていない。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットで調べ学習をする際、難しい説明や、たくさんある情報の中から必要な情報を選んだりすることが難しい。 ○体験した内容を他者に伝える機会を十分に設けることができなかった。 ○タブレット端末の基本的な操作はできるが、調べ学習の際、たくさんある情報の中から必要な情報を選んだり、文章から必要な情報を読み取ったりする力が弱い。 <p>(改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童にとって理解が難しい言葉で書かれているサイトもあるため、グループで効果的なサイトを共有できるような環境も整える。 ○児童・生徒がじっくりと考えたり、調べたりできる学習課題を設定する。
第5学年	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報を集める際の視点、まとめることの良さを実感させられていない。 ○体験した内容を他者に伝える機会を十分に設けることができなかった。 (授業改善策) ○児童が主体的に活動できる学習課題を設定し、考える時間、調べる時間を十分に保障する。 ○映像教材や実物などを用意して、体験的に理解できるようにする。 ○図や表を活用したり、キーワードが分かるようにまとめるなど、伝え方のポイントを共有する時間をとる。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりが興味をもった課題設定を行うことができた。 ○学習したことをプレゼンテーションソフトや文書作成ソフトを活用してまとめることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの情報を集めることができるが、伝えたい内容を精査し、わかりやすくまとめることができていない。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報を集め、まとめる際に知識面に偏り、背景としての事象や関係者の思いにまで考えが及んでいない。 ○体験した内容を他者に伝える機会を十分に設けることができなかった。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が主体的に活動できる学習課題を設定し、調べることで児童の思考が深まるようにする。 ○発表場面において資料のポイントを提示しながら伝える機会を多く設ける。 ○地域コミュニティの一員として、よりよい社会を考え学習を生かすことができるようにしていく。
第6学年	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを使って情報を求めに行く態度や、キーワードを入力し、必要な情報を焦点化し素早く精選する力は高められている。一方で、「本当に真実の情報か」を疑い、検証しながら情報を選択する力の育成は課題である。 ○タブレットを活用すると、効果的に図やデータを貼り付け、掲示物を仕上げることができ、タブレットの方法では上手くまとめられない児童がいる。 (授業改善策) ○児童にとって理解が難しい言葉で書かれているサイトもあるため、困っている児童には必要なサイトを提示する。また、グループで効果的なサイトを共有できるような環境も整える。 ○学び方を児童に選択させる場面と、ねらいを説明し、ICTを活用しない方法で取り組ませる機会も設けていく。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然教室に向けて自分なりに課題をもち、川上村の自然や産業などについて、インターネットを活用して調べ進めることができた。 ○国語の単元と関連させ、ポスター形式で調べたことを整理してまとめることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットをタブレットで活用するの慣れていない児童が多いが、調べた情報をそのまま書き写すまともに見られる。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットの活用の仕方が上手にできる児童が多いが、その情報をどのように活用していくかという部分で個人差が見られる。 ○必要な情報が見つからない時の改善策が見つけられない児童も見られた。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習の中で互いに得た情報を共有できる時間を設定するなど、調べ方やまとめ方などより良い方法を友達と協力して見つけられるよう配慮する。 ○調べた情報を活用する方法について、手本になるものを示し、まとめる作業がしやすくなるよう配慮する。
くすの木	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末の基本的な操作はできるが、調べ学習の際、たくさんある情報の中から必要な情報を選んだり、文章から必要な情報を読み取ったりする力が弱い。 (授業改善策) ○イラストや写真などを多用しているサイトや、平易な文章で表現されている小学生向けのサイトなどを利用して、調べたことをさらに文章化することで、自分で情報を有効に活用できるようになるための経験を積ませる。映像資料からも調べることができることを経験させ、活用できるようにしていく。 ○様々な教科において使用したり、連絡や通信、記録に利用したりすることを通して、日常的にタブレットを用いる。 ○生活体験学習や宿泊学習など児童に主体的に行動させたい内容を中心に楽しく学習を進める。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活体験学習で行う仕事体験活動に向けて自分なりに関心をもち、体験したい仕事についてタブレットで調べたり、グループで体験する順番を話し合ったりすることができた。 ○事前学習が中心で、実際の授業中での活用が多くなる。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べたい事柄が漠然とし、タブレットで検索しているが、興味にまかせて時間が過ぎてしまう姿が見受けられる。 ○多くの情報から必要な情報を取捨選択することが難しい。 ○体験から感じ取ったことをまとめた表現したりすることが難しい。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレット操作には慣れてきたが、課題の設定や課題意識をもつことの定着ができていない。 ○体験したことを想起したり言葉や絵で表現したりすることの定着ができていない。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の興味・関心に基づく課題が設定できるように、異年齢集団のよさを生かしたグループ学習を適宜取り入れる。 ○協同的に学ばせながら個にあった活動に取り組ませる。 ○設定した課題や情報収集の方法など、学習の過程を記録できるように例を示す。 ○まとめる経験を積むことのできる学習場面を設定する。各教科等で身に付けられた知識や技能を相互に関連付け、総合的に働くように学習を進めていく。